

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		学芸大学駅前第二教室		公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	見守りの際に1人以上の職員を配置し、1人での配置が難しい場合は適宜見守りを行う職員の人数を増やしております。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキル向上を目指し努力していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	建物の構造上バリアフリー化することが難しい場所もありますが、その際は職員が補助することで大きな負担が生じないよう気を付けております。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	お子様が安心して過ごすごができるよう、おもちゃを週に一度、各部屋は1日に1度消毒作業を行うよう徹底しております。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	お子様の成長に合わせてよい環境を提供できるよう、体の大きなお子様への療育は大人用のテーブルを設置した部屋で行うなどの工夫	より良い支援が行えるよう、努力してまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	教室内会議にてお子様の支援において相談し、業務をよりよくできるよう話し合いの場を設けております。	職員全体で保護者様の抱くニーズを把握し、引き続き改善できるよう努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様へ向けたアンケートを実施し、意向の把握をしております。アンケートを集計し、その結果を業務改善へとつなげております。	実施している支援がよりよいものとなるよう、引き続き努力していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	療育実施前後に職員同士で相談・報告を行っています。時折書籍や支援方法について情報の提供をしています。	よりよい支援ができるよう、話し合いをしやすい雰囲気づくりを意識してまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	実施しておりません。	必要に応じて実施を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	定期的に社内での研修を行っています。近年では療育そのものだけでなくハラスメントについての研修も行いました。	学びの機会を確保するためにも、引き続き研修を行ってまいります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	保護者様から聞き取りを行い、ニーズに沿った支援プログラムの作成を行っております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者様から聞き取った内容を踏まえ、適切な支援内容を検討し、具体的な支援方法を例示しつつ作成しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者とお子様の支援を直接行っている指導員とが話し合い、支援計画の作成を行っております。	今後もより良い支援ができるよう努めてまいります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別での支援のためすべてのサービス計画を共有はしていませんが、必要に応じて共有を行い、助言を得られるようにしています。	支援がよりよいものとなるよう努力してまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	WISCやビネ検査の結果等も踏まえ、客観的な情報をもとにしたこどもの適応行動の状況の把握ができるよう努めています。	必要に応じて実施を検討しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	ガイドラインに沿って必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や園・学校等に関しても必要に応じて対応しています。	他の支援者との連携を踏まえ、引き続き支援者同士の関係作りを大切にしながら取り組んでまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	個別指導のためチームでは行っていませんが、支援者が困った際に他の支援者に相談できるようにしております。	設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や園・学校等に関しても必要に応じて対応しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	定期的に保護者様から聞き取りを行い、成長に合わせた支援を行っています。	よりよい支援ができるよう、これからも努めてまいります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	4	現在は集団での療育は行っていません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	支援開始前に場所の利用や支援での困りごとについて相談できるようにしています。	相談しやすい雰囲気づくりを今後もしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	個別支援のため各自で振り返りを行うことが多いですが、必要に応じて他の職員とも問題の共有や相談ができるようにしています。	相談しやすい雰囲気づくりを今後もしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	各自その日の支援内容について振り返り、記録をつけて次の支援に役立てられるようにしています。	今後もよりよい支援ができるよう努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングの際は保護者様から現在の状況をニーズについて詳しく伺っています。	今後もよりよい支援ができるよう努めてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	ガイドラインに沿いつつ、保護者様・お子様の意向を踏まえた支援を実施しております。	引き続きガイドラインとご利用者様の意向とのバランスを考えながら支援にあたります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	苦手なこと・伸ばしていきたいところだけでなく、必要に応じてお子様からやりたいことを聞き、可能な範囲で対応しています。	お子様が楽しく取り組めるような支援を引き続き目指します。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心にして参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるよう調整しています。	会議での内容は今後も他の職員とも共有していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	お子様1人1人の状況にあわせ、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	今後もよりよい支援ができるよう努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	お子様と保護者様が安心して教室に通うことができるよう、今後も連携をとってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	保護者様や未就学児を対象とした他の教室から丁寧に聞き取りを行っています。	より良い支援ができるよう、引き続き努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	要望が出た際は対応できるよう記録を残しております。	現在はニーズがないため実施していませんが、要望が出た際は適宜対応いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	機会がありませんが、必要に応じて実施を検討します。	現在はニーズがないため実施していませんが、要望が出た際は適宜対応いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	要望が出た際は適切に対処できるよう努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	現在は実施していませんが、最新の情報を収集できるよう、職員が各自勉強会等に参加しています。	よりよい支援ができるよう、支援についての情報を集め共有していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	食品の提供はないため、アレルギーの把握が必要になった場合のみ聞き取りを行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			